

全国高校生体験活動顕彰制度  
「地域探究プログラム・オリエンテーション合宿 in とかしき」

**開 催 要 項 (再募集)**

1. 趣 旨

我が国の高校生にとって、18歳での選挙権付与や成人年齢の引き下げ等により「社会への関わり」が強く求められている。また、急速な情報化社会の進展、グローバル経済の変容、パンデミックの発生等により自己を取り巻く環境は予測できない状況となっており、人生においても進路を決定する大切な時期にある。そのような状況に対応できるよう「社会を生き抜く力」や「自分で探究する力」を養うことが課題となっている。これらを踏まえ、高等学校では、学習指導要領において「主体的・対話的で深い学び」の観点が盛り込まれ、総合的な探究の時間における「探究学習」が実施されることとなっている。

一方、青少年教育施設においては、体験活動や集団宿泊合宿を通して「生きる力」を育み、多様なプログラムの提供やノウハウの蓄積により、青少年の自立に寄与している。体験活動や集団宿泊合宿は、「主体的・対話的で深い学び」に大変有効であり、高等学校と青少年教育施設が連携して高校生の課題へ取り組むことは非常に有意義である。そのため、国立青少年教育振興機構において、機構各施設の立地条件を踏まえた多様な体験活動のノウハウを活用して、※全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」が創設された。

本事業は、同制度の一環として、探究学習の手法を取り入れ、宿泊を伴うオリエンテーション合宿を通して、“離島”というフィールドを課題対象とした「地域課題の探究方法（実践活動を含む。）」を学習し、ものごとを探究する姿勢、主体的に取り組む態度、課題に向き合う力を身に付けるカリキュラムを実施する。

※全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」

- ・高校生（個人又は団体）は、機構各施設が募集する「地域探究プログラム・オリエンテーション合宿」に参加し、探究学習の手法を取り入れたカリキュラムを受講する。修了者へは修了証が発行される。
- ・合宿終了後、希望する者は、取り組む地域課題について実践活動を行い、実践活動報告書を機構へ提出する。報告書が受理された場合は、令和4年度九州・沖縄ブロックの地方ステージでプレゼン発表ができる。
- ・さらに、地方ステージで選出された場合は、全国ステージでプレゼン発表ができ、優秀者には文部科学大臣賞等の顕彰がなされる。

2. 主 催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立沖縄青少年交流の家

3. 後 援 沖縄県教育委員会 渡嘉敷村 渡嘉敷村教育委員会 琉球新報社 沖縄タイムス社

4. 期 日 令和4年2月11日(金)～2月13日(日) 2泊3日

※荒天等で船舶欠航の場合や新型コロナウイルスの感染状況によっては事業中止となることもあります。

5. 場 所 国立沖縄青少年交流の家

6. 対 象 日本在住の高校生及びそれに相応する学籍又は年齢にあるもの

7. 定 員 14名

8. 参加費 5,600円(食事代、保険料、シーツ代、環境協力税、雑費等)

## 9. 研修日程

	8:00	8:15	9:30	10:00	11:30	12:00	13:00	14:00	16:30	18:00	19:00	21:00	22:00
2/11 (金)	会議室 とまりん2階 集合・受付	ガイダンス	乗船	フェリー とかしき	移動	昼食	講話 「地域づくりの 実践」	フィールドワーク① 「地域の魅力を発見」	フリータイム	夕食	講義・演習① 「地域理解」	入浴	就寝
2/12 (土)	起床	朝食	フリータイム	講義・演習② 「課題解決の 基礎」	フリータイム	昼食	フィールドワーク② 「地域課題の探究」	講義・演習③ 「地域課題の 探究」	夕食	フリータイム	発表①	入浴	就寝
2/13 (日)	起床・清掃	朝食	清掃 チェック	講義・演習④ 「行動計画の 基礎」	フリータイム	昼食	発表②	実践活動の ための ガイダンス	エンディング	乗船	まりんライナー とかしき	泊港にて解散	

- ・フィールドワークは、「観光産業コース」「農林水産コース」「環境保全コース」に別れて実施する。  
観光産業コース：阿波連地区の飲食店を中心にインタビューを行う。  
農林水産コース：渡嘉敷の農業家へのインタビューを行う。  
環境保全コース：環境省 慶良間自然保護官へのインタビューを行う。

## 10. 講師及びファシリテーター

### (1) 講師

大城 肇（おおしろ はじめ）：国立大学法人琉球大学名誉教授・前琉球大学長

- ・講話 「地域づくりの実践」

### (2) ファシリテーター

富川 盛章（とみかわ もりあき）：沖縄県立森川特別支援学校教諭

瀬利 宗司（せり そうし）：沖縄県立島尻特別支援学校教諭

仲村 和之（なかむら かずゆき）：沖縄県立森川特別支援学校教諭

- ・FW①「地域の魅力を発見」
- ・講義・演習①「地域理解」
- ・講義・演習②「課題・解決の基礎」
- ・FW②「地域課題の探究」
- ・講義・演習③「地域課題の探究」

※三石 裕弥香（みついし ゆみこ）：環境省 慶良間自然保護官事務所 自然保護官補佐もサポートとして参加予定

## 11. 内 容（1単位時間は50分）

- ・ガイダンス（1単位時間）  
全国高校生体験活動顕彰制度の趣旨や内容、オリエンテーション合宿について理解する。
- ・講話「地域づくりの実践」（1単位時間）  
今後の活動に向けて、参加者の興味・関心事項を引き出すとともに、地域に魅力を感じ、よりよい地域づくりを実践していくための意欲を高める。
- ・フィールドワーク①「地域の魅力を発見」（3単位時間）  
地域づくりに関する取組についての活動を体験し、その魅力を発見する。

- ・講義・演習①「地域理解」（2単位時間）  
地域理解をより深める為に、グループ協議においてフィールドワーク①で得た、個の気づきや発見を共有する。
- ・講義・演習②「課題解決の基礎」（2単位時間）  
探究のプロセスの考え方を学ぶ。自らの興味・関心をもとにした高校生らしい仮説（地域をよりよくするためのアイデア）を立てる。また、フィールドワーク②に向け、一人ひとりの仮説（アイデア）を検証するための質問や取組をグループで検討する。
- ・フィールドワーク②「地域課題の探究」（3単位時間）  
地域の理解をより深める。講義・演習②で立てた仮説よりも詳細（発展的）な活動（解決策）を思案する。
- ・講義・実習③「地域課題の探究」（3単位時間）  
要点のまとめ方や簡潔な文章の基本について理解する。地域課題への気づきや発見を共有し、多面的・多角的に考察することで、より有効な活動を思案する。発表①の準備を行う。
- ・発表①（1単位時間）  
伝えたい内容を的確にまとめ、かつ相手に応じた表現をするための基礎を学ぶ。
- ・講義・演習④「行動計画の基礎」（2単位時間）  
行動計画の基本的事項を理解する。また、実践活動での行動計画を作成する。発表②の準備を行う。
- ・発表②（1単位時間）  
伝えたい内容を的確にまとめ、かつ相手に応じた表現を意識的に実践する。
- ・実践活動のためのガイダンス（1単位時間）  
実践活動を実施する上で安全管理や社会のルール・マナーを理解する。  
※講師及び日程・内容については、都合により変更になる場合があります。

## 12. 申込みについて

- (1) 受付期間 令和3年12月20日(月)午前9時から令和4年1月18日(火)午後3時まで。  
 ※先着順ではありません。応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。  
 ※抽選結果は令和4年1月25日(火)までに連絡いたします。

### (2) 申込方法

沖縄青少年交流の家ホームページより、申し込み用紙をダウンロードし必要事項を記入し申し込みください。  
 (メール、FAX での申込希望の方は別紙申込用紙に必要事項を記入の上ご送信ください。また、お手数ではございますが、受信確認のお電話を当所までかけていただき、申し込み内容のご確認をお願いいたします。  
※電話確認時間9:00～17:00)

- (3) キャンセルの場合は速やかにご連絡をお願いいたします。

## 13. 持ち物

- 体調管理シート(2週間分の記入済み) ○マスク ○体温計 ○着替え ○帽子 ○タオル
  - 筆記用具 ○洗面・入浴用具(歯ブラシ、シャンプー、石けん等) ○マイカップ(水筒可)
  - 雨具(カッパ) ○健康保険証 ○履きなれた靴 ○日焼け止め ○屋内用スリッパ
  - 常備薬(必要な方) ○ドライヤー(必要な方) ○酔い止め薬(必要な方)
- ※金品や貴重品は各自で管理してください。

## 14. 新型コロナウイルス感染症防止対策における留意点及びお願い

- (1) 参加者は事業2週間前から体調管理シートを用いて自己管理を行う。
- (2) 事業中はマスク、手洗い、消毒、互いの距離をとるなど可能な限り「三つの密」を避けるよう対策を行いながら実施する。
- (3) 事業中は起床後と就寝前に体温測定と健康観察を行い、参加者の健康維持を図る。

- (4) 新型コロナウイルス感染症拡大により**開催の中止**もありえます。
- (5) 発熱等の諸症状がみられる場合は、参加を取りやめていただくようお願いいたします。
- (6) お住まいの自治体に往来自粛の要請等が出ている場合は、事業への参加をご遠慮いただきます。

## 16. その他

- (1) とまりん2階会議室に8時に集合・受付の後、ガイダンスを行い、交流の家職員と一緒にフェリーへ乗船します。(チケットの購入はありません。)
- (2) アレルギー等、健康上の配慮が必要な場合は、必ず申込時にお申し出ください。
- (3) 食事代には、1日目の昼食・夕食、2日目の朝食・昼食・夕食、3日目の朝食、昼食が含まれます。
- (4) オリエンテーション合宿終了後に各自で実施する実践活動は、オリエンテーション合宿において実施した内容に基づき、居住または通学する地域の課題を発見し、計画を立て、課題を解決する活動を5日間以上実践することとします。オリエンテーション合宿前から取り組んでいる活動(学校の総合的な探究の時間で取り組んでいる活動やその他の個人的な実践活動)については実践活動に含まれません。(地方ステージ、全国ステージの対象外となります。)
- (5) 荒天等で船舶欠航の場合や新型コロナウイルスの感染状況によっては事業中止となることもあります。
- (6) 泊港までの交通機関経費は自己負担となります。

※自然災害(軽石漂着)等により、開催当日に船舶が欠航になった場合も自己負担となりますのでご了承ください。

記入いただいた個人情報は、「独立行政法人国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規定」等に基づき適切に管理し、この事業に関する事務のみに使用し、法令等に定める場合を除いて第三者に開示することはありません。

本事業で職員等が撮影した写真や映像、制作物、感想文等の著作物を、当機構の広報等に使用する目的で、報告書や刊行物、インターネット(ソーシャルメディアサービスを含む)等に掲載することがあります。

なお、当機構がインターネット上に公開した肖像及び著作物について、本人(又は保護者)から削除依頼を受けた場合は速やかに削除します。ただし、印刷物等については対応できかねますのでご了承ください。ご承諾いただけない場合は事前に事業担当者へご相談ください。

### 【申込・問合せ先】

国立沖縄青少年交流の家 担当：諸見謝 尚  
〒901 - 3595 沖縄県渡嘉敷村字渡嘉敷2760番地  
TEL 098 - 987 - 2306 FAX 098 - 987 - 2318  
E-mail okinawa@niye.go.jp

国立沖縄青少年交流の家 検索



マリンブルー とがいき  
国立沖縄青少年交流の家  
National Okinawa Youth Friendship Center

